

# 「尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり」

## ★プロジェクトの概要

中国地方整備局による航路整備の浚渫土砂を活用して造成された、4箇所の人工干潟において、**浦島漁業協同組合および尾道市**により、**干潟・藻場の保全活動（生物生息場の保全活動、清掃活動等）**が行われ、アマモ場が広がるとともに、生物の種類・個体数の増加や多様な生物の生息が確認されています。

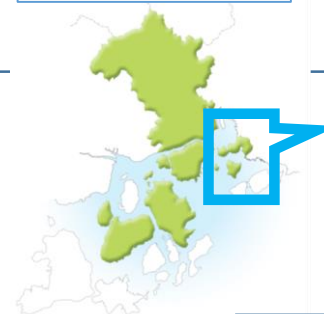


沖の観音（海老干潟）



ブルーカーボン推進マスコット  
アマモちゃん

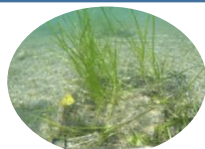
広島県尾道市



## ★PRポイント

造成された干潟・藻場は、ブルーカーボンの機能だけでなく、**水質の浄化**や水産生物の保全・育成による**食料供給**、環境学習の場の提供などの**多様な価値**を有しています。

水質浄化



干潟・藻場の生物による  
COD浄化量が年間**57トン**増加

食料供給



干潟によるアサリ生産量が  
年間**11トン**増加



藻場によるメバル生産量が  
年間 **9トン**増加

**経済価値 年間1.2億円程度**  
(市場価格法と代替法による推計値)

算定方法の詳細：ブルーカーボンクレジットを活用した持続的な藻場・干潟の保全・再生活動の実践と課題－尾道市沿岸域における取り組みからの考察－，第36回 沿岸域学会講演討論会要旨集，2024。

## ☆今後の展開

**地域の活性化**  
を目指した収益活用



マリンスポーツ「尾道海属」や  
海事・観光産業との連携



干潟・藻場再生活動を継続



地域イベントでの  
ブルーカーボンオフセット



地元中学生・企業との環境学習  
(アマモ再生体験会)